経済・総合
市民タイムス　平成20年（2008年）8月15日（金）（2）（第三種郵便物認可）

## 才能教育研究会 中嶋嶺雄会長に聞く

# 耳から音楽 語学教育にも

才能教育研究会の新会長として抱負を語る中嶋さん

中嶋　嶺雄氏（なかじま・みねお）1936年、松本市生まれ。松本深志高校卒業、東京大学大学院修了。東京外国語大学教授などを経て95年から2001年まで東京外大学長を務め、04年に国際教養大学理事長・学長に就任した。文部科学省中央教育審議会委員、内閣教育再生会議有識者委員も務めた。サントリー学芸賞受賞の『北京烈烈』など著書多数。

松本市出身の国際社会学者で、才能教育研究会の新会長に就任した中嶋嶺雄さん(七二)が市民タイムスのインタビューに応じ、新会長としての抱負や展望を語った。幼児期に耳から音楽を覚え、反復によって身に付けるスズキ・メソードの方法論は「教育全般に通じる」とし、英語など語学教育への応用と普及に努力する考えを示した。

中嶋さんはこれまでの日本の英語教育を「文法やスペルを覚えていてもコミュニケーションができない」と問題視し、幼いころに耳から外国語に親しむ必要があると説いた。小学校の英語教育が本格化しようとしている中、スズキ・メソードの方法論を取り入れる学校が増えることを願い、関係行政機関の理解を広めるべく力を尽くす考えも示した。外国語を学ぶことは「母語を磨くことにもなる」とした。

## 来春の記念行事 張り切る

創始者の鈴木鎮一さんの没後十年、生誕百十周年の記念行事として、来年三月に日本武道館（東京都）でグランドコンサートを開く予定で、「関係者だけでない国際的な広がりを持たせたい」と意気込む。音楽に造詣の深い小泉純一郎元首相、スズキ・メソードの生徒だったという町村信孝官房長官、台湾の李登輝元総統など、幅広い人を招待する考えを示した。（高石雅也）

## 民の運動 官を説得

—七月二十一日の会長就任からもうすぐ一カ月。現在の心境は。

昭和二十二年一月、松本音楽院（現・才能教育研究会）で、鈴木鎮一先生に初めて教えを受けた日を思い出す。才能教育は松本に生まれ、世界に広がった教育運動。松本出身で、鈴木先生に教えを受けた私が、豊田耕児（こうじ）前会長を引き継ぐことに巡り合わせを感じる。重い責任を感じると同時に光栄に思う。

—幼児教育の重要性が見直されている。スズキ・メソードの先見性と方法論の特長は。

鈴木先生が「どの子も育つ、育て方ひとつ」と言われた通り、才能は生まれつきではなく、幼児期からの教育や環境で育つ。終戦直後にそれを提唱され、実際に子供を教え育てられた。素晴らしい先見性だ。

スズキ・メソードの方法論の特長は耳から聞いて覚えること、つまり暗譜。もうひとつは繰り返しの練習にある。ぼくも子供のころにここで覚えた曲をいまでも弾ける。

—スズキ・メソードの方法論は言語教育にも生かせるか。

スズキ・メソードは教育全般に通じる方法論だ。言語能力は幼児期から取り組むことで自然と身に付く。外国語を耳から学び、繰り返しによって身に付ける教育を、日本はもう少しきちんとやるべきだ。小学校での英語教育が本格化しようとしている。スズキ・メソードの方法論が取り入れられることを願う。

—才能教育研究会の発展に向けた課題は。

教育基本法が改正され、幼児教育の重要性が初めて条文に盛られるなど、国が幼児教育を重視するようになってきた。民の運動としてのスズキ・メソードは、もっと公教育に取り入れられるように努力しなくてはならない。官の協力も必要で、こちらも官を説得することが大切だ。そうした点で私がお役に立てることも多いのではないか。指導者の若返りも課題の一つだ。

—鈴木先生の没後十年、生誕百十周年を記念するコンサートが各地で行われている。来年三月に日本武道館で開かれるグランドコンサートへの抱負は。

スズキ・メソード出身者の町村さん（官房長官）や、音楽に造詣の深い小泉さん（元首相）、音楽好きの台湾の李登輝夫妻に声をかけたい。関係者だけでなく国内外のいろんな方をお招きし、国際的な広がりを持たせたい。

—鈴木先生に教わったバイオリンをいまでも続けられている。

家にいるときはほぼ毎日弾いている。ぼくにとって一番楽しい時間で、癒やされる時間だ。さまざまな合奏仲間も得られ、バイオリンを続けていて本当に良かったと思っている。

—国際教養大学（秋田市）の学長・理事長も務め、国内外を忙しく飛び回っておられる。体力は大丈夫か。

大丈夫。高校、大学と山岳部に所属し、いまでも年に一、二回は山に登る。今年も六月に北アルプスの徳本峠から霞沢に登ったばかり。

---

地元住民や観光客らがなごやかなひとときを過ごした

# 湯の街に納涼夕市

## 浅間温泉 17日まで

松本市の浅間温泉広場で十四日、恒例の納涼夕市が始まった。飲食の出店や、演歌などのミニコンサートの催しがあり、地元住民や、浴衣姿の旅館の宿泊客らが訪れて、和やかなひとときを過ごしている。十七日まで。

鶏の空揚げやビールなどの飲食販売、ブドウや桃の農産物販売、浅間温泉の風景を描いた水彩画の店など六店舗が並んだ。暑さが和らいだ午後六時を過ぎると少しずつ客が増え始めた。

初めての出店で、子供服や雑貨のフリーマーケットを広げている浅間温泉一の主婦・喜多久実子さん(三三)は「観光客に喜んでもらうお手伝いができれば」と話し、大勢の来場を楽しみにしていた。

浅間温泉旅館協同組合婦人部（石川恵似子部長）と浅間温泉商業会（野本道夫会長）の主催で平成十五年から実施している。午後五時から午後九時半まで。（横内里美）

---

# 親子で狙う全…

## 長野高専 体育…

### 内山了治監督と周さん

長野高専（長野市）陸上球技部に所属する、安曇野市穂高の内山了治さん(五〇)＝同校教授＝と、二男・周さん(二〇)＝電子情報工学科五年、穂高西中出＝が、北海道函館市で開かれる第四十三回全国高専体育大会（全国高専体育協会など主催）に同校を率いて出場する。了治さんが監督、周さんが主将として、創部以来、初の総合優勝を目標に掲げるチームを支えている。（肥後健一）

「父に面倒を見てほしい」。高校進学を前に、周さんは自ら高専を選ん

ころは（陸上競技部の）他人の子供を見てばかりだった」と自省する了治

この五年間、「親子係は気にならなかった」と口をそろえる。

---

平成20年度 「小さな親切」運動 作文
上位入賞作品は長野県代表として全国コンクールへ出品
テーマ（小・中学生共通）
○わたしのした「小さな親切」
○わたしのうけた「小さな親切」
○わたしのみた「小さな親切」
○わたしのできなかった「小さな親切」
（題はテーマにそって自由につけて下さい）
●応募資格　県内小中学校在校生
●作品字数　本文400字づめ原稿用紙3枚以内
●応募方法　作品は1行目に題、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文とし、本文終了後の次の原稿用紙1枚に、応募者の郵便番号、住所、氏名、自宅電話番号、学校名、学年、性別を明記し、氏名にはふりがなをつけて右記の送付先へお送り下さい。
「小さな親切」運動